

Left ventricular torsion and strain in patients with repaired Tetralogy of Fallot assessed by speckle tracking imaging

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2011-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高安, 博史 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001114

順天堂大学 博士 (医学)

氏名 高安 博史

論文題目 Left ventricular torsion and strain in patients with repaired Tetralogy of Fallot assessed by speckle tracking imaging

(Speckle tracking imaging によるファロー四徴症術後患者の左室 torsion, strain の解析)

論文内容の要旨

背景：ファロー四徴症 (TOF) 患者の左室機能は臨床症状を左右する重要な因子である。

目的：TOF 術後患者の左室 torsion, strain を speckle tracking imaging (STI) を用いて検討する。

方法：TOF 術後 29 人 (年齢 5 ~ 25 才) と正常対照 29 人の心臓超音波検査を行い、左室 torsion と circumferential, longitudinal strain を STI を用いて評価した。

結果：TOF 群は正常対照群に比べ、心尖部 rotation が低下、もしくは心基部 rotation が反転し、左室 torsion は低下していた。Torsion rate, Untwisting rate は年齢と逆相関した。心基部 circumferential strain, strain rate (SR) は年齢と逆相関し、対照群より低下していた。中隔側 longitudinal strain, SR は年齢と逆相関し対照群より低下していたが、側壁側は比較的保たれていた。

結論：TOF 群では心不全症状を認めなくても、torsion と strain 値の低下を認めた。TOF 患者の左室機能を詳細に評価する上で、torsion と strain はより鋭敏で重要な指標となりうる。